

教育研究業績

学部： 芸術学部

学科： 芸術学科

領域： 美術領域

氏名	長谷川喜久	職名	教授
教育活動	[学部] 美術実技（日本画）4-1, 美術実技（日本画）4-2 [大学院] 絵画研究 日本画制作研究 ・自主テーマによる研究及び修了研究		
学位	芸術学士（金沢市立美術工芸大学） 授与昭和61年3月 芸術学修士（金沢市立美術工芸大学） 授与昭和63年3月		
学歴	昭和61年3月 金沢市立美術工芸大学日本画科 卒業 昭和61年4月 金沢市立美術工芸大学大学院 絵画専攻 日本画コース 入学 昭和63年3月 金沢市立美術工芸大学大学院 絵画専攻 日本画コース 修了		
職歴	昭和63年4月 帝京大学可児高等学校中学校非常勤講師（平成14年3月まで） 平成元年4月 岐阜県立岐阜西工業高等学校 非常勤講師（平成5年3月まで） 平成5年4月 名古屋芸術大学 非常勤講師（平成28年9月まで） 平成30年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科美術領域 教授（現在に至る）		
専門分野	現代日本画		
研究課題	・日本画画材(墨、岩絵具等)による現代的技法の研究。 画面表現が多様化する日本画という領域の中、独自性の強い己の内面を表すのにより適切な 描法、技法を追求。 ・受けた視覚的感動を再構築し、一つの画面とする制作姿勢を進行中。		
教育研究業績	・「堂本印象と東丘社展」 砺波市美術館（平成21年4月） ・「個展」 画廊 凛（平成21年4月） ・「汪友会展」 岐阜高島屋（平成21年4月） ・「京都画壇 サムホール展」 京都高島屋（平成21年4月） ・「東丘社選抜展」 京都府立文化芸術会館（平成21年5月） ・「央展」 名古屋三越（平成21年6月） ・「第41回日展」 国立新美術館（平成21年10月） ・「アートのメリーゴーランド・クロスアートII・7人のトップランナー」 岐阜県美術館（平成21年11月） ・「志志の会展」 津田画廊（平成21年12月） ・「一萌会展」 前田一心堂（平成21年12月） ・「明日の日本画展」 名古屋松坂屋（平成21年12月） ・「第45回日春展」 松屋銀座（平成22年3月）		

- ・「二人展」 画廊たづ/ギャラリーエスパス (平成 22 年 4 月)
- ・「汪友会展」 岐阜高島屋 (平成 22 年 4 月)
- ・「個展」 高島屋一名古屋・大阪・日本橋・京都 (平成 22 年 10 月)
- ・「第 42 回日展」 国立新美術館 (平成 22 年 11 月)
- ・「一萌会展」 前田一心堂 (平成 22 年 12 月)
- ・「第 46 回日春展」 松屋銀座 (平成 23 年 3 月)
- ・「響の会展」 高島屋一名古屋・日本橋・大阪・横浜 (平成 23 年 3 月)
- ・「長谷川喜久展」 上海美術館-中国(上海美術館主催) (平成 23 年 5 月)
- ・「第 51 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 23 年 5 月)
- ・「The color of 10 展」 ギャラリーエスパス名古屋/心齋橋大丸 (平成 23 年 6 月)
- ・「小龍の会」 松屋 銀座 (平成 23 年 8 月)
- ・「央展」 名古屋 三越 (平成 23 年 10 月)
- ・「第 43 回 日展」 国立新美術館 (平成 23 年 11 月)
- ・「堂本印象と東丘社展」 奈良万葉文化館 (平成 23 年 11 月)
- ・「個展」 画廊 光芳堂 (平成 23 年 12 月)
- ・「一萌会展」 前田一心堂 (平成 23 年 12 月)
- ・「第 47 回 日春展」 松屋 銀座 (平成 24 年 3 月)
- ・「汪友会展」 岐阜 高島屋 (平成 24 年 4 月)
- ・「個展」 名古屋 松坂屋 (平成 24 年 5 月)
- ・「第 52 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 24 年 5 月)
- ・「青青会展」 画廊 凜 (平成 24 年 6 月)
- ・「上海美術館個展 報告展」 加藤栄三・東一記念美術館 (平成 24 年 7 月)
- ・「第 44 回 日展」 国立新美術館 (平成 24 年 11 月)
- ・「一萌会展」 前田一心堂 (平成 24 年 12 月)
- ・「大丸特紹美術会」 リーガロイヤルホテル (平成 25 年 2 月)
- ・「第 48 回 日春展」 松屋 銀座 (平成 25 年 3 月)
- ・「The color of 11 展」 ギャラリーエスパス名古屋/高松 天満屋 (平成 25 年 3 月)
- ・「個展」 心齋橋 大丸 (平成 25 年 3 月)
- ・「響の会展」 高島屋一名古屋・日本橋・大阪・横浜 (平成 25 年 3 月)
- ・「京都アートフェア」 みやこメッセ (平成 25 年 4 月)
- ・「個展」 ギャラリーエスパス名古屋 (平成 25 年 4 月)
- ・「第 53 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 25 年 5 月)
- ・「グループ途 展」 加藤栄三・東一記念美術館 (平成 25 年 7 月)
- ・「堂本印象と東丘社展」 丹波市立植野記念美術館 (平成 25 年 10 月)
- ・「第 45 回 日展」 国立新美術館 (平成 25 年 11 月)
- ・「一萌会展」 前田一心堂 (平成 25 年 12 月)
- ・「アートフェア東京 個展ブース」 東京国際フォーラム (平成 26 年 3 月)
- ・「個展」 ギャラリーエスパス (平成 26 年 3 月)
- ・「第 49 回 日春展」 松屋 銀座 (平成 26 年 3 月)
- ・「個展」 仙台 藤崎 (平成 26 年 5 月)
- ・「扇子展」 画廊 凜 (平成 26 年 5 月)

- ・「第 54 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 26 年 5 月)
- ・「個展」 (高島屋一名古屋・大阪 (平成 26 年 7 月)
- ・「個展」 福山 天満屋 (平成 26 年 7 月)
- ・「三越美術逸品会」 ホテルニューオータニ (平成 26 年 10 月)
- ・「サテライト 長谷川喜久展」 岐阜県美術館 (平成 26 年 10 月)
- ・「第 1 回 改組新・日展」 国立新美術館 (平成 26 年 11 月)
- ・「新しい橋 展」 神戸そごう/ギャラリーエスパス名古屋 (平成 27 年 1 月)
- ・「Volant 展」 加藤栄三・東一記念美術館 (平成 27 年 1 月)
- ・「日本画特集 長谷川喜久展」 池袋 西武 (平成 27 年 2 月)
- ・「第 50 回 日春展」 松屋 銀座 (平成 27 年 3 月)
- ・「琳派 400 年記念展」 京都文化博物館 (平成 27 年 4 月)
- ・「扉の会展」 岩勝画廊 (平成 27 年 4 月)
- ・「個展」 画廊 光芳堂 (平成 27 年 4 月)
- ・「京宵展」 京都美術倶楽部 (平成 27 年 4 月)
- ・「第 55 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 27 年 5 月)
- ・「個展」 日本橋 三越 (平成 27 年 6 月)
- ・「黎明の会」 ジェイアール名古屋タカシマヤ (平成 27 年 7 月)
- ・「第 2 回 改組新・日展」 国立新美術館 (平成 27 年 11 月)
- ・「二人展」 画廊 光芳堂 (平成 27 年 11 月)
- ・「ファインアートコレクション」 マツザカヤホール (平成 27 年 12 月)
- ・「松坂屋特招会」 名古屋 松坂屋 (平成 28 年 2 月)
- ・「松坂屋特招会」 都ホテル (平成 28 年 3 月)
- ・「個展」 名古屋 松坂屋 (平成 28 年 4 月)
- "・「五都美術商連合会主催 創と造 2016」 東京美術倶楽部ー京都美術倶楽部ー金沢美術倶楽部ー大阪美術倶楽部ー名古屋美術倶楽部 (平成 28 年 4 月)
- ・「第 56 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 28 年 5 月)
- ・「建仁寺両足院 奉納記念個展」 建仁寺 両足院 (平成 28 年 6 月)
- ・「響の会展」 高島屋一名古屋・日本橋・大阪・横浜 (平成 28 年 7 月)
- ・「第 3 回 改組新・日展」 国立新美術館 (平成 28 年 10 月)
- ・「個展」 北岡技芳堂 (平成 28 年 11 月)
- ・「東雲の会」 心齋橋 大丸 (平成 28 年 12 月)
- ・「個展」 阪急うめだ (平成 29 年 2 月)
- ・「第 1 回新日春展」 東京都美術館 (平成 29 年 4 月)
- "・「五都美術商連合会主催 創と造 2017」 (東京美術倶楽部ー京都美術倶楽部ー金沢美術倶楽部ー大阪美術倶楽部ー名古屋美術倶楽部) (平成 29 年 4 月)
- ・「第 57 回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成 29 年 5 月)
- ・「京都日本画家協会選抜展」 京都文化博物館 (平成 29 年 6 月)
- ・「黎明×瑤瑤」 高島屋一名古屋・大阪 (平成 29 年 7 月)
- ・「第 4 回 改組新・日展」 国立新美術館 (平成 29 年 11 月)
- ・「開廊 20 年記念特別企画 長谷川喜久日本画展」 画廊 凜 (平成 29 年 11 月)

	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2回新日春展」 東京都美術館 (平成30年4月) ・「煌春会展」 岩勝画廊 (平成30年4月) ・「五都美術商連合会主催 創と造 2018」(東京美術倶楽部ー京都美術倶楽部ー金沢美術倶楽部ー大阪美術倶楽部ー名古屋美術倶楽部 (平成30年4月) ・「二人展 「美術の窓」挿絵原画展」 ギャラリー和田 (平成30年4月) ・「第58回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (平成30年5月) ・「個展」 日本橋 三越 (平成30年5月) ・「黎明の会」 高島屋ー名古屋・大阪 (平成30年7月) ・「第5回改組新・日展」 国立新美術館/審査員/東京都知事賞(平成30年11月) ・「黎明×瑠瑠」 加藤栄三・東一記念美術館 (平成30年11月) ・「アトラボ岐阜ワークショップ展」 ぎふチャンアートギャラリー/講師出品 ・「フジにサクラ展」 岩勝画廊 (平成31年1月) ・「五都美術商連合会主催 創と造 2019」 東京美術倶楽部ー京都美術倶楽部ー金沢美術倶楽部ー大阪美術倶楽部ー名古屋美術倶楽部 (平成31年4月) ・「煌春会展」 岩勝画廊 (平成31年4月) ・「迷うくじら展」 佐藤美術館/教員出品 (平成31年4月) ・「第3回新日春展」 東京都美術館/会員出品 (平成31年4月) ・「第59回 東丘社展」 京都府立文化芸術会館 (令和元年5月) ・「個展」 ジェイアール名古屋タカシマヤ/大阪高島屋 (令和元年7月) ・「喜々展」 ギャラリーエスパス名古屋/京都大丸アートサロンエスパス (令和元年7月) ・「目で見える名曲集 GORO NOGUCHI GOLDEN HIT PARADE」 美濃和紙の里会館 (名古屋芸術大学開学50周年記念事業 企画プロデューサー) (令和元年8月) ・「瑞龍寺天澤院 龍図襖制作」 瑞龍寺天澤院 (令和元年8月) ・「日本画から NIHONGA へ～安芸の詩」 日本橋三越 (令和元年8月) ・「第6回改組 新・日展」 国立新美術館 (令和元年11月) ・岐阜県美術館企画展 「ETERNAL IDOL」 岐阜県美術館 (令和元年11月) [講演] ・「クロストーク講演会西田俊英×長谷川喜久」 岐阜県美術館 (平成30年6月) ・迷うくじら展公開講評 立島恵×長谷川喜久(佐藤美術館) (令和元年4月) ・目で見える名曲集 GORO NOGUCHI GOLDEN HIT PARADE ギャラリートーク 野口五郎×長谷川喜久 (美濃和紙の里会館) (令和元年9月)
<p>所属学会 団体等</p>	<p>改組新・日展特別会員, 新日春展会員理事, CBCクラブ会員, 中部日展作家懇話会副会長, 岐阜日本画協会常任理事, 京都日本画家協会会員, 絵画研究団体 東丘社 委員</p>
<p>社会的活動</p>	<p>日展 審査員(平成16年、平成21年、平成30年 東京都美術館、国立新美術館) 新日春展 審査員(平成30年 東京都美術館) 全国和紙絵画展 審査員(平成21年～現在に至る 美濃和紙の里会館) なつのおもいで絵画展 審査員(平成19年～現在に至る 三甲美術館) ぎふ美術展ねんりんピック運営委員</p>

	岐阜市美術展 審査員 等
その他	受賞歴 全関西美術展 第一席（平成元年）（同 読売新聞社賞（平成3年）） 川端龍子賞展 大賞（平成4年） 上野の森美術館大賞展 フジテレビ賞（平成5年） 岐阜市芸術文化奨励賞（平成8年） 日春展 日春賞（平成9年）（同'10、'03 奨励賞） 日展特選（平成11年・平成13年） 岐阜県芸術文化奨励賞（平成13年） 京都新鋭選抜展 第一席（平成14年） 万葉日本画大賞展 準大賞（平成16年） 日展会員賞（平成17年） 日展 東京都知事賞受賞（平成31年） 名古屋自由学院 功績表彰（令和元年）